

文15 「①かかる道は②いかで③か④い
まする。」と言ふを⑤見れ⑥ば、
見し人⑧なりけり。

問一 傍線部① 「かかる」は「この
ような」という意味である。
「かかる」道とはどのような
道を指すか。

ア ウ ア
イ と 暗き道 イ いと細き道
エ と 暗う細き道
い と 暗う細きに薦・楓の茂る道

問二 傍線部②の訳は？

ア どうして イ 何を ウ いつ
エ どこで

問三 傍線部③について

(一) ここでの意味は?

ア 強意 イ 疑問 ウ 反語

文15

「(1)かかる道は(2)いかで(3)か(4)い
まする。」と言ふを(5)見れ(6)ば、
見(7)し人(8)なりけり。

問三 傍線部③について

(2)この語があると文末は何形になるか。

ア 未然 イ 連用 ウ 終止 エ 連体
オ 已然 力命令

(3)この語によつて(2)の活用形になつてゐるのは次のどちら?

ア いまする イ けり

文15 「①かかる道は②いかで③か④い
まする。」と言ふを⑤見れ⑥ば、
見⑦し人⑧なりけり。

問四 傍線部④の終止形は「いま
す」は「いらつしやる」と訳
す。これは次のどれにあたる
か。

ア 尊敬語..主語を持ち上げて、**主**
語に対する敬意を表す。

例 | 主語||敬意の対象

お客様が**話す**

主語を高める

例 | **↓お客様が** **話される**

謙譲語..主語を低めて、**相手に**
対する敬意を表す。

例 | 相手||敬意の対象

私が**お客様に****話す**

私を低める

↓私がお客様に**申し上げる**

ウ 丁寧語..丁寧な言葉を使うこと
で**聞き手や読み手への**
敬意を表す。

例 「机がある。」

聞き手・読み手に**丁寧に**
↓机があります。」

文15

「(1)かかる道は(2)いかで(3)か(4)い
まする。」と言ふを(5)見れ(6)ば、
見(7)し人(8)なりけり。

問五

傍線部⑤ 「見れ」の終止形は
「見る」で、「ひいきにみ
みーる」の中にあるから上一
段活用で、活用パターンは
「イーイーイーイーイーイーイ
よ」。この「見れ」の活用形
は何か。

ア 未然

イ 連用 ウ 終止 エ 連体

オ 已然

カ 命令

文15 「①かかる道は②いかで③か④い
まする。」と言ふを⑤見れ⑥ば、
見⑦し人⑧なりけり。

問六

傍線部⑥の「ば」は次の三つの訳を持つ。この場合はどれ？

アもしうならば

※已然形 + 「ば」

イうので

※已然形 + 「ば」で、

「ば」の上の出来事が原因で、「ば」の下の出来事が起こった。

ウうすると・うしたところ

※已然形 + 「ば」で、

「ば」の上の出来事のあと、「ば」の下の出来事が

たまたまが起こった。

文15

「①かかる道は②いかで③か④い
まする。」と言ふを⑤見れ⑥ば、
見⑦し人⑧なりけり。

問七

文中に「し」という単語があつた場合、次の三つの可能性があるが、傍線部⑦の「し」は次のどれにあたるか。
なお、「し」の前にある「見」の終止形は「見る」で、「み」みる「みる」「みれ」「みよ」と活用します。

ア サ変動詞「す」の連用形
イ セ「し」す「する」すれ「せよ」
◎ 「する」と訳せる。

例 うつくしきさまして

過去の助動詞「き」の連体形
◎ セ「き」「し」しか○

◎ 連用形 + 「し」 + 名詞

▼ 連用形につく助動詞

▼ 連体形だから下に名詞

ウ 強意の意味を付け加える助詞
◎ 削除しても不自然にならない。

文15

「(1)かかる道は(2)いかで(3)か(4)い
まする。」と言ふを(5)見れ(6)ば、
見(7)し人(8)なりけり。

問八

「なり」という助動詞は次の
二種類あるが、傍線部(8)はどう
ちら?

ア 断定(だ・である)の助動詞

※ 体言(II名詞)や連体形につく。
「なり」

イ 推定(ようだ)の助動詞

「なり」

※ 終止形につく。(ただし、ラ変
には連体形につく。)

このページは空白ページです